

(陳受 30 第 8 号) 「生涯現役社会」を実現するシルバー人材センターの決意と支援の要望	
受理年月日	平成 30 年 10 月 1 日
陳 情 者	公益社団法人全国シルバー人材センター 理事長 藤井 文孝
陳 情 の 要 旨	
<p>少子高齢化が進む中、地域の日常生活に密着した就業機会の提供や高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進を実行するため、シルバー人材センター事業の果たす役割の重要性は、一層高まっております。</p> <p>こうした中、シルバー人材センターでは、「第 2 次会員 100 万人達成計画」を策定し（現在約 72 万人）、平成 36 年までに会員 100 万人を目指し、会員増加への取り組みを強めるとともに下記の 4 点の事業に努めてまいります。</p>	
記	
<p>① 介護保険制度改正に伴う介護予防・日常生活支援総合事業などの要支援高齢者に対する事業</p> <p>② 子育て中の現役世代や子供たちへの支援事業</p> <p>③ 人手不足の地元企業に向けたシルバー派遣等の事業</p> <p>④ 空き家管理、遊休地を活用した農園事業などの事業</p>	
<p>つきましては、平成 31 年度のシルバー人材センター事業の推進のために必要な補助金の確保や公共からの事業発注の確保について強く要望するとともに、公益法人が事業を継続的・安定的に運営できるよう、「特定費用準備資金」として、将来の収支変動に備えた資金を積み立てることを可能とする見直しを強く要望いたします。</p>	